



刊夕日五十二月八

**常 警 論 壇**  
**農村振興問題 (三)**  
 政界通人  
 ◇要するに負擔の軽減といふ目的から見れば地租委譲といふことは甚だ効果の薄弱なものであるのは明かである、或は他に負擔軽減がなく地方事業の振作にこれを用ふるとしたらどうだろうか？  
 ◇地方事業を振作すること亦農村振興の策たるには相違ない、けれども事業を興せば必ず財政は膨脹する現下の我が國家財政の状態に照し財政の膨脹といふことが如何に恐るべく、警むべきものであるかは、心あるの、よく知る所である。況んや中央に補填の財源なく、強ひてこれを行はんとすれば新税を興すより他に手段なき現狀なるをやである、而して新税を興すの不可なることは天下一人としてこれを認めざるはないのであるから畢竟するにこれは策の得たものでないといふことになる。  
 ◇地租委譲が適切なる政策でありとすれば然らば如何なる方法が最も適切なる効果を得るかを考へなければならぬ、私は最も緊切なとして最も根本的な策として次の三點を挙げる。

◇第一は農村負擔の軽減であり第二は土地改良に依る農産の増收であり、そして第三は米穀法の勵行に依る一定價格の維持がそれであると思ふ、直接な負擔の軽減に就ては國家財政の狀態より考慮して二分減を主張してゐる、この數字は甚だ少額なるには似てゐるけれども現實に、それだけ減せられるのであるからその効果は必ずしも小なりとは云ひ得ない、況んや吾々は社會政策的見地より家用消費の廢止等に依り農村中流以下の階級の爲めに特に力を致さんことを期してゐる。

**國産粉ミルク**  
 おしどり印 一ポンド入  
 粉ミルク 一ポンド入  
 コーヒー入 半ポンド入  
 コーヒー入 半ポンド入  
 コーヒー入 半ポンド入  
 日本製乳會社が多年製造して居りましたが愈々豊富に製造品優良なる舶來品に優るもので弊舖の確信する處一度御試用を乞ふ  
 平町二丁目  
**西村屋藥舖**

**常馨文藝**  
 月影さえて  
 吾妻奈美夫  
 月影さえて  
 夜は更ける  
 淋しき秋の  
 想ひかな  
 月はさゆれど  
 わが心  
 晴れざる事の  
 寂しさよ  
 君が事ども  
 想ひみて  
 寂しき涙  
 頬に落つ  
 君を想ひて  
 わがハート  
 便りを待ちて  
 わがハート  
 月影さえて  
 夜は更ける  
 淋しき秋の  
 想ひかな  
 一九五八・二四一

**中元奉仕割引會**  
 お買上げ一割引  
 五圓以上  
 ◇舊七月一日ヨリ五日間  
 「開店七十年祝として、紀念賣出しをする豫定であつたのをその期を得ず七十二年のこのお盆に奉仕的賣出しを決行いたしました」  
 ◇是非仕着せ物や  
 ◇御贈答品  
 この機を御利用下さつてこの催しを有効に終らして戴きたう存じます  
**亀田屋呉服店**  
 平町三丁目(電話五十七番)

**亡夫大隆院の新盆に就ては**  
 その遺言に基き提灯其他の供物御贈與の儀一切御辭退申上度く何卒此段惡しからず御承知の程御願申上候  
 平町三丁目丸又  
**久野喜久子**

**齒科平町 泰富齒科醫院**  
**亡父篤光院新盆に就いては**  
 遺言に依り提灯其他の御贈與品一切辭退仕度此段得貴意候也  
 平町一丁目和久井屋號  
**吉田彦太郎**

◆良品廉賣に勝る商略なし  
 磐城セメント會社特約店  
 和洋銅鐵 釜屋商店  
 金物問屋  
 磐城平町五丁目電話二九九番  
**中野呉服店**  
 平町三丁目(電話六七番)

**吳服類は總べて**  
 安く良くは**電**の標語です  
 必らず御満足して戴ける確信です  
 最近の當店へぜひお運びを願ひます  
**電**の商標を御信用願ひます  
 平町長橋町  
**宗形忠次郎**

今年は亡母貞草院の新盆に相當仕候へ共遺言に據り提灯其他の御贈與品總べて御辭退申上度く此段不惡御諒知奉願上候  
 平町四丁目  
**星野庸治**

# 救世軍の士官が 孝行青年を誘惑

## にげて来いよ

甘い文句を連らねた手紙

もと平町六丁目救世軍小隊附であつた現東京府下大井町小隊村救世軍少尉北郷俊海(平町警署故北郷保守氏の息)が平町警署通信社の

## 販路を擴張

石城郡平窪村果樹組合にては例年梨の生産高五萬貫以上に達し殆ど平町を中心として販賣されてゐるが本年は特に優良品の生産につと

めしく働き病弱な両親と兄弟を養つて居た平町才穂小路坂本博(三)の許に自分獨りが働いて居るのは餘りに馬鹿氣で居るではないかと是れを誘惑と去る十五日無断家出せしめた事件がある、平署にては目下前記大井

警察署と 聯絡を取り活動を開始したから表面は常に人世の第一線に起つて主の道を説き悲痛な叫びを擧げて居る救世軍士官の裏面に於ける現實暴露的真相が近く判明するに至るであらうが左記の書信は

### 北郷救世 軍少尉の坂本青年を誘惑すべく寄せた一齣である

働いてもくみんなどられてしまつて兄さんと弟とは遊んでくらす積りなんだよ、みんなで君一人に働かして遊んで居るつもりなんだらう、坂本君少し考へねばだめだ、(中略)僕は君の仕事としてある人に話しをして金口をばらしてやる、だから逃げて来いよ(中略)此の手紙はお父さんと弟に見つからぬようにやぶいて

一日一言  
白井平區裁判監督判事  
私は裁判所と云ふ所がどう云ふ所であるかを一般の人に徹底せしむる様良く任務を果したいと考へて居る

めると共に東京地方に販路を求めんと東京、神田川果物問屋松島源太郎氏を招聘しその生産實況の視察を乞ひ荷造その他の指導を受けたが今後益々成績良好となる見込である

## 自働車道

### 幅員を擴張 明年度改良

既記の如く平警察署前及び平町字鎌田町地内國道は日々數十臺の自働車が往復運轉し交通頻繁なるにかゝはらず急カーブのため危険の



家庭欄

### 煙草を濡らさぬ法

煙草の濡つたのは味の悪くいばかりでなく、衛生上宜しくありません。それで茶の罐とかカルケットの空罐

### 魚釣りの祟りか 笑戸の池に呑まれる

未だに死體が浮まぬ

石城郡内郷村大字綴磐城炭礦坑夫山内清藏(三)は外三名と共に廿四日午前十一時頃同郡飯野村大字上荒川字笑戸の池に魚釣りに行き水泳を始めたが大聲を擧げた儘水底に沈み浮き上らぬよ

### 女房の家出

平町へ来たか

名古屋市南区波寄町大谷良雄妻静子(三)は此程亭主に無断で家出したが平町に知り合ひある爲め若しや同地に立廻つたのではないかと夫より平署に捜索方顯出た

### 愛息溺死す

夏井川遊泳中

元平第二小學校長小野金太郎氏八男新八郎(九)さんは廿三日午後一時頃石城郡平窪村地内夏井川好間川合流地點附近に於て游泳中溺死したるを程經て發見應急手当のこうなく蘇生するに至らなかつた

### 大谷氏の出福

平信

のやうなものに入れ、中へ少量の酸性白土を古封筒にでも入れて、一緒に入れておくと、どんな濕氣の多い時季でも常に乾燥してゐます、また罐の底へ灰を入れてその上へ紙を敷いて入れておいても當分大丈夫です、▲煙草の粉の利用法 日本紙に包んで笹筒の抽斗に入

## 盛んに行はれる 新設電話の賣買

### 廿個位への 移動はあるらしい見込み

平郵便局における本年度特別架設電話は既報の如く五十個が何れも去る廿一日より一齊に 開通され であるが 極度の不景氣によつて僅に二十圓五十圓位の口錢で權利の譲り渡し盛んに行はれ開通後三日間の二十四日まで新設電話中十一個が賣買され尙續々として譲り渡される模様で折角据け付けられた電話の

### 譲り渡し

の契約をなして移轉の申請をなすものらしく本月中には新設中の四割二十個位の移動はあり見込らしいと

て最も急を要するものと認められ明年度内に改修實現を見るであらうと

### 花合賭博

川前村にて

石城郡川前村大字川前字中萱飲食店、會田音吉(四)同村字五林炭造山口金彌(五)同村字中萱木炭商近藤辰次郎同村倉方内藤長次郎は去る廿二日夜前記會田方にて花合賭博を開帳し鈴木駐在巡查に踏み込まれ逮捕され平署にて取調中

### 市外讀者へ

本社新設電話六三〇番は去る廿一日から市外への通話も出来るのですからぜひ急用には御利用願ひます

### 常磐毎日新聞社

### 阿彌陀堂祭禮

石城郡内郷村大字白水阿彌陀堂は廿五六の兩日祭典を執行する

### 裁縫教員檢定

石城郡にては來月一日午前八時から郡會議室にて、裁縫専科教員の檢定試験を行ふ筈にて受験者九十七名

### 斯道大家の 長唄と踊り

平町にて催す

平町日刊各新聞社後援東京長唄喜行會主催にて來月十日午前六時より(場所未定)長唄と踊りの會を開催する筈であるが出演者は左記の如くである

(長唄)田中樂中、井上長小、今成蝶二、林里二、三絃)芳村伊三壽、芳村伊知壽、芳村よし、芳村

ちい、杵屋六壽津(舞踊)若柳吉十郎、外數名(笛)望月長造(小鼓)望月佐喜之助(大鼓)望月佐一郎(太鼓)望月佐喜藏

### 金光堂の勉強

平町五丁目金光堂時計店にては平素の引立に酬ゆる爲め時計眼鏡貴金屬類等總べて正札の一割五分引にて中元大賣出しを開始した

### 平町人事

▲出生  
△北日町八 猪狩忠喜氏四女英子  
△道匠小路二三 當時東京府四多摩郡青梅町宮 田山男長女ミツ

▲死亡  
△鎌田町二五 當時石城郡神谷村大字鎌田紫澤ツイ(一五)  
△六人町一一 馬上文雄(三三)

## 常磐片々

### 殘虐な迫害を甘受しながら 街頭に悲痛な聲をこぼつて 神の道を説く救世軍

その士官が平町の孝行青年を「逃げて来いよ」と手紙で誘惑

天國へ逃げて来いよとでも云ふなら未だ理由もたどろが「人夫に世話をするから親を捨てよ」と……

一体誰れにたよつて自分の身の處置をどうつけければよい世の中なのだ

## 常磐片々

平郵便局における本年度特別架設電話は既報の如く五十個が何れも去る廿一日より一齊に 開通され であるが 極度の不景氣によつて僅に二十圓五十圓位の口錢で權利の譲り渡し盛んに行はれ開通後三日間の二十四日まで新設電話中十一個が賣買され尙續々として譲り渡される模様で折角据け付けられた電話の

譲り渡し の契約をなして移轉の申請をなすものらしく本月中には新設中の四割二十個位の移動はあり見込らしいと

譲り渡し の契約をなして移轉の申請をなすものらしく本月中には新設中の四割二十個位の移動はあり見込らしいと

譲り渡し の契約をなして移轉の申請をなすものらしく本月中には新設中の四割二十個位の移動はあり見込らしいと